

原子力国民会議講演会 in 松江

2014 年 12 月 7 日 島根県民会館

受講者の要望とご意見

- 1、放射線の正しい知識について政府はもっと国民に対し PR すべき。
- 2、分かり易い説明いただき感謝します。現在の福島状況をデータに基づいてお話いただき、報道されている事との違いがあり何がどうなのか分からなくなったことも事実です。
個人線量と空間線量の違いだけで結果が違ふようであればどちらも測定が必要ではないかとおもいました。
原子力防災のマネージメントになる人材育成を国家レベルで行う必要があると思われる。
- 3、地震や津波でも安全になるよう国民が安心して運転できるようにお願いします。
- 4、正しい知識を政府の責任で早く広く知らしめて頂きたい。
- 5、高田先生、諸葛先生ありがとうございますございました。
- 6、原子力のメリット、デメリット、人体に与える影響、本当に危険なレベルはどの程度かを一般市民に分かり易く説明する必要があるのではない顏思います。
- 7、原子力に基礎知識がとてもなく会議等によりもっと多くの人が学ばなければ原子力の発展はないともいます。
- 8、国民に向けた原子力に関する意見交換の場の必要性を今日の会で感じる事が出来ました。
原子力事故によりたいへん危険な地と思われた場所に自ら乗り込み、現地調査、研究された高田先生の姿勢に感銘を受けました。
今日の教えしっかりと心に止めたいと思います。
原子力会議に1つもの申すとすれば、対原子力に否定的な意見をお持ちの先生にも会に参加していただき、討論形式での会の進め方にもチャレンジして欲しいと思います。ともすれば多くの国民が参加できこの会の理念が実現するのではないのでしょうか。有意義な時間となりました。本当にありがとうございました。
- 9、放射性物質・線の人体得の影響。生活への配慮の必要性の有無について、正しい情報が国民に周知され不要な不毛な議論に一定の終結が図られることが何より重要である。
避難計画の非現実性は定説化されたからでは回復不可となるのではないかと危惧する。
再稼動にしろ、廃炉後の廃棄物クリアランスの理解にしろ HLW にしろ全てに通ず。
核物質の防護特にテロ対策はもはや国防の領域ではないか?防災オンサイト医療の対応を事業者に求めていくことは現実逃避といえないのでしょうか。搬出が基本のはず。
地域医療も医師不足の現実あり。
- 10、大変勉強になりました。
- 11、一日も早い原子力再稼動
- 12、軽水炉事故は低線量と切って捨てるお話は UPZ に住む人達にとって違和感そのものでした。
- 13、マスコミの専門家の教育を実施して本当の報道をする様レベルアップする必要があるのではないか
- 14、川の水が流れるように電気も勝手に家まで来ていると思っていり人が多く特に金持ちのボンボンに電気代を払っていることすら知らない者までいる。

放射線の知識向上と電気が作られる仕組みについてもっと周知して欲しいと思います。

とにかく科学的根拠のない施策が福島でまだ続いている点は驚いた。

もっと大きな声でもって科学的根拠を国民に伝えていかなければならないと感じました。

15、とっても有意義な内容でした。政治的な問題が福島の課題であると感じました。

16、制度として立派になってきたが住民としての義務等についても分かり易くまとめて欲しい。

17、福島発電所の実態（原子炉は安全に停止—電源喪失のみ失敗）その対策をすれば同様な災害は起こらないことを周知して頂きたい。

18、講演会をもう少し広く一般にPRしてはどうか。感情論でない今日のような講演で前向きな講演会をすることは必要。（特に立地ではなく周辺地域で（新たに30KMに含まれた地域））

19、今後は正確な情報提供をお願いします。特に被爆の問題は重要だと思います。防災と関連した話は効果的なテーマでした。

20、正しいことを正しく伝えることが必要だと思います。原子力国民会議は朝日、毎日の誤った報道をネットなどで指摘していただきたいと思います。

21、福島の放射線による被害状況とほんとうに避難が必要だったのか、現在でも避難を続けないといけないのかきちんと検証して欲しい。

放射線の影響で健康被害や自殺が多くなっていないこと、避難が原因で健康被害や自殺が多くなっていることをきちんと公表することが大切だと思う。

放射線の専門の方々が現状等をマスコミ等を通じて国民に正しく理解をさせるような取り組みが必要だと思う。福島の現状を松江市民（多県民も含めて）知らない、知る手段がない、まして30KM圏外の方々に関心を持っている人すら少ない。

22、趣旨賛同です。1つでも実現できるようお願いしたいと思います。

23、政府は原子力発電の安全性と必要性を国民にきちんと説明するべきである。

原子力防災対策が穴出し始めている。あらゆるリサンドに対応できる防災対策（危機管理対策）を整備すべきである。またそれに必要な基本法および組織を設置すべきである。

24、今後ともこのような会を開催